

NO. 1	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	8	鈴木 慎也	
<p>1. 医療・福祉の食について</p> <p>2018年4月に経営統合する予定の老健いさりびと恵心園の食事は町外業者へ外注するとの報告を受けました。病院事業全体の経営を重要視することはもちろん理解できますが、町内の医療、福祉の食は現在の恵心園方式を参考にすることで、(地元食材を地元業者から仕入れ、手作りの食事を作る) 一次産業の発展・地元商店の活性化へ貢献しています。また、何より入居者のかたに美味しい地元の食事を提供することは、「福祉の町きこない」として本来、あるべき姿であると考え、実際に入居されているかたの満足度は非常に高いと認識しております。</p> <p>このような様々な観点からも「医療・福祉」の食を町外の外注業者だけでなく、地元食材や地元業者との協力連携で運営される環境作りを積極的に整えることが求められ、早急に幅広い議論や検証が必要であると考えます。</p> <p>下記について、町長及び病院事業管理者の見解を伺います。</p> <p>(1) 業者の選定経緯と高齢者の医療、福祉の食事助成制度の見直し・検討、(地元食材、地元業者の場合)</p> <p>2. 給食センターの多機能化(仮称総合給食センター)について</p> <p>現在、給食センターは小学校と中学校の児童・生徒分、約230食を作っており、地元食材の積極的使用や地元商店との連携により、安心安全で高品質な給食を提供していることから、事業成果は高いと考えております。製造能力の約半分の稼働率と聞いておりますが将来、生徒数の減少が予測される中、施設設備の遊休化、老朽化が懸念されます。</p> <p>また、将来的に児童・生徒数の減少と反比例し医療、福祉を中心とした高齢者のニーズが増えることも予測されます。</p> <p>以上のことから安心安全な給食の安定供給という本来の機能を適切に維持しながら、高齢者も対象とした医療、福祉、そして見守り活動も含めた宅配サービスや災害時の炊き出し等の様々な機能が求められてきます。計画的に「仮称総合給食センターの新設及び増設」を検討すべきと考えていますが、町長及び教育長の見解を伺います。</p>			<p>町 長 病院事業管理者</p> <p>町 長 教 育 長</p>